

いいまちづくり 観音寺輝き隊通信

二〇一九年六月一日 発行 第5号

文責：大西
編集：白川



有明浜にある銭形砂絵は、市のシンボルでありながら、いつ、誰が、何のために作ったのか、今だにはつきりしたことは解明されていません。私たちはぜひ、この謎の解明に向けて取り組んでいきたいと考え、その第一歩として「銭形ミステリーシンポジウム」を開きました。そこで新たに出された説や今までの有力な説をこの紙面で一つずつ取り上げていきたいと思ひます。

【銭形のいわれその一】

1633年(寛永十年)徳川幕府、二代将軍秀忠が亡くなり、家光が幕府の改革に乗り出し、全国一斉に国巡りの上司を派遣する通達を出しました。当時の丸亀藩主 生駒高俊(いこまたかとし)公は巡見使が来る前に藩内を探られないよう自ら巡視することを考えました。その際、生駒公は税の取り立てが比較的穏やかで信頼されていたので「おらが殿様を喜ばせよう」と村人たちが知恵をしばり、砂浜に当時のお金である寛永通宝を掘ったのではないかと考えられています。

なお、幕府が寛永通宝を铸造したのは、それより後の1636年ですが1625年には水戸で既に作られており 観音寺近辺の铸造技術の歴史的観点から1633年には私铸銭が存在した可能性はあり得る話だといふことです。

お問い合わせ先 080(3211)1962

お知らせ

琴弾公園内の大平正芳
記念館は 大平氏命日の
6月12日(水)、及び 6月
8日(土)・9日(日)が無料
開放になります。ぜひ、
ご来場ください。

「いいまちづくり観音寺輝き隊」は
「名勝琴弾公園の魅力を高め
る」ことを主な目的にしている
小さなボランティア団体です。

◆◆琴弾公園クイズ◆◆

【問題】



有明浜にある銭形砂絵は、年に二回、春と秋に砂ざらえを行い、形が整えられます。さて、この銭形砂絵の周りを、人が手をつないで並ぶ光景を頭に浮かべて見て下さい。(腕はあまり広げない)

◆5月の琴弾公園の清掃◆

この日、琴柱池(ことじいけ)には、藻が繁殖し始めていました。放っておくと薄茶色に変色した藻が水面を覆いつくしてしまうため藻を取り除く作業を行いました。パワースポットとして大切な問答石付近の除草作業や、池周辺のゴミ拾いも行い、毎回感じる清々しい気分でも終了しました。

◆次回清掃日のお知らせ◆

6月10日(月) 八時～九時半
集合場所：琴柱池付近
参加費無料 (保険未加入)
(ミニおやつ付き)
飲み物、各自用意
みんなでいい汗を流しましょう。
新しい出会いを待っています。

何人ぐらい並ぶと思いますか？

- ① およそ200人
- ② およそ400人
- ③ およそ600人

※正解はこの紙面上のどこかにあります

